

勝利するためのおまじないの研究

A Study of magic for victory

1 K08B031-9

岩田麻奈

指導教員 主査 寒川恒夫先生 副査 石井昌幸先生

[目的]

サッカーをしているうちに、精神力の強さと勝利の関係について調べたいと思った。その精神力を作りだすものは、試合前の準備であり、ルーティーンともいうおまじないなのではないかと思った。その中で、チームスポーツで1人1人の気持ちをひとつにするには、どのようなことを行っているのか。おまじないは、学生でも持っていた方がいいのか。

また、最近の強豪チームは寮生活をし、チーム力をあげている。集団行動をすることで、何らかの規則を作らなければならないだろう。早稲田大学の強豪チームにも寮が設けられている。その寮や部のオリジナルルールには、どれだけ勝てるチームにする力があるのか。チームスポーツにおいて、寮生活は必要なのかを調べてみたいと思った。

[方法]

早稲田大学のア式蹴球部男女、ラクロス部、野球部、アメリカンフットボール部、ソフトボール女子部、ハンドボール部男子、ラグビー部の8つの部から、試合前のおまじないやルーティーンについて、聞き取りをした。オリジナルルールに関しても、ア式蹴球部女子、野球部、水球部、ラグビー部の4つの部から聞き取り調査を行い、上下関係のルールなどをまとめた。

[結果]

日本でもトップのスポーツ選手でも独自のルーティーンを持っており、何年も続けることで勝利を引き寄せるだけでなく、精神力も鍛えていた。中でも使用する用具の手入れにも気を使っている人もいた。試合前には、各部円陣を行っていた。円陣は、どの部に関しても一体感が生まれ、気合いを入れるおまじないとして使われている。やり方は、部独特のもので伝統にされているものである。ラグビー部は、ラグビーというスポーツを大切に扱っており、神聖さが表れていた。円陣や試合前の勝利するためのおまじないは、どのスポーツ選手にも使われ、集中力をあげ、自分たちのモチベ

ーションをあげる大切な要素で、心をつなげる作用がある。また、各部のオリジナルルールの共通点は、上下関係についてしっかり教育されていることやレセプション時のスーツや装飾品についても決められていた。寮については、1年生の仕事が多く、雑用の仕事も割り振られていた。このようにルールを全員で守ることで団結し、チーム力は強まる。練習以外にも一緒にいる時間が長いことで、お互いを知れ、絆が深まるのである。チームスポーツに寮生活は必要であるのだ。

[考察]

昔からスポーツは、メンタル同士の戦いでもあるとされている。チェロキーをはじめ、ハカなどもメンタルの表れである。その気持ちの強さを作るのも、試合前の円陣や勝利するためのおまじないなのであり、どの世代のどのスポーツでも必要である。これで集中力、団結力、会場との一体感、勝利するための要素を一気に得ることができるのである。また、部則や寮則はチーム力をあげるために重要なものである。全員でルールを守り、私生活でも一緒にいることで上下関係、思いやり等を学べる。寮がある部は強化寮で、アスリートであるという意識の高い集団でいることで、お互いに刺激が与えられ、勝負に勝てる集団へとなっていくのであると思った。チームスポーツにおいて、チームメイトと長く時間を過ごすことは、重要なのである。このようなことを調べ、勝利には精神力が大きく関わっており、チームスポーツはいくらでも自分たちで強くしていける要素がたくさんあることがわかった。意識改革をしていけば、規則をうまく考えていけば、チーム力はアップしていく。無意識ではなく、こうすれば自分はこうなるとその効用をはっきり分かるようになるのが、勝利するためのおまじないであり、ルーティーンでもあるのだ。早稲田大学は、強豪スポーツが集まっており、独自のルールでチームをまとめ、たくさんの好成績を残してきている。勝てるチームは、個人の精神力が強いのである。

